

2013年度・2014年度 全国壮年会連合活動計画

活動方針

全国バプテストの壮年が「教会形成を担う」と「伝道者養成の業」に参加することを旗印に掲げ、壮年同士の交流をはかる中からお互いが触発され成長し、主が示された働きのために助け合い、祈り合い、献身的に仕えることを目指します。

上記活動方針を実現するために以下の施策を展開する。

尚、施策には、2012年3月1日「全国壮年会連合活動に関するワーキング・グループ」(以下WG)により答申された『今後の全国壮年会連合活動について』の内容を踏まえ、2012年度より継続して取り組む。

全国壮年大会の開催

1. 第48回(2013年度)全国壮年大会の開催

全国壮年会連合規約第5条(2)に則り開催する。

開催日時	2013年8月23日(金)12:00 ~ 24日(土)15:00
会場	西南学院大学及び西南学院バプテスト教会
主題と講師	「キリストによってたてられる壮年」 奥田知志牧師(東八幡キリスト教会) ～ 教会の現場ば 担ごおや ～ < 聖書 > わたしたちは神のために力を合わせて働く者であり、あなたがたは神の畑、神の建物なのです。 <コリントの信徒への手紙一 3章9節>
大会運営担当	福岡地方連合壮年会
取り上げる課題	「人を育てる」(パネルディスカッション テーマ)

- 詳細は別途大会案内参照
- 大会プログラムの中で、2013年度全国壮年会連合総会を開催する。

2. 以降の全国壮年大会の計画と準備

確定している大会運営担当

- 2014年度 中国・四国地方連合壮年会
- 2015年度 東京地方連合壮年会

上記2地方連合壮年会とは、充実した大会となるよう役員会の意向を伝え、準備を進める。

今後の全国壮年大会開催の検討

WGの答申をもとに、以下の開催方法に改めるべく関連地方連合と協議を進める。

- 隔年で関東圏3地方連合壮年会に福岡地方連合壮年会を加え、各地方連合壮年会に順番に運営担当を担っていただきながら開催する。
- 関東圏3地方連合壮年会と福岡地方連合壮年会が運営を担当する大会は天城山荘等での2泊3日開催を基本とするが、担当地方連合の実情に合わせて会場・期間を設定していただくことも可とする。その場合、壮年同士が十分に交流できる機会の提供と総会必要時間の確保のため、開始・終了時間の弾力的な運用等によって開催時間を最大限延長できるようプログラムの工夫を要望する。
- その他の地方連合壮年会が運営を担当する大会の基本は1泊2日となるが、上記同様、可能な限り開催時間が確保できるよう、開始・終了時間を弾力的に設定する。
- 毎年の大会プログラムに、神学校献金推進委員主導で神学校献金推進の課題を参加者全員が共有するための時間確保を大会実行委員会に要望していく。

伝道者養成の業への参与

1. 神学校献金活動の推進

2012年度(第58回)連盟総会において、2013年度より、連盟「神学生奨学会計」から連合立等神学校奨学金制度への資金供与が可決された。この資金確保も加え「神学校献金(神学生奨学金献金)」目標3,000万円達成に向けて取り組む。

神学校週間(2013年6月23日～30日、2014年6月22日～29日)でのアピール

- 神学校週間における活動と神学校献金への協力依頼文書の作成送付(全教会・伝道所宛)
- ポスター・チラシ・献金封筒等活動ツールの作成送付(全教会・伝道所宛)

各教会での神学校献金推進活動の紹介

壮年会連合ニュースの記事(寄稿)として紙面の位置を定め紹介して行く。

教会ごと個別アピールの実施

2012年度実績から大幅に実績が減少した教会について、協力をお願い文書を発行し、地方連合壮年会長(神学校献金推進委員)からのサポートを得ながら働きかけを行う。

神学校献金推進委員の働きの明確化

神学校献金推進委員が地方連合の中で献金推進活動を十分に行えるよう、推進委員相互の意見交換の場を提供するとともに、働きを共有するための情報を発信して行く。また、全国の壮年に神学校献金推進委員の活動を認知していただくよう、全国壮年大会でのアピール活動を支援する。

全国の牧師年齢層の実情把握

2012年度より連盟「伝道者養成グランドデザイン検討委員会」メンバーとして全国の伝道者の実態(年齢層、出身神学校、性別等)分析を行っているが、伝道者養成のための資料として活用する。

2. 連合立等神学校奨学金制度創設に伴う業務受託への対応

2012年度(第58回)連盟総会における議案「神学献金使途拡充の件」の可決を受け、連合立等神学校奨学金制度への資金供与に関する実務2件を連盟理事会からの要請に応じて受託したい。

東京及び九州バプテスト神学校への送金業務(送金額は連盟理事会からの指示による)

両神学校における受給者名簿の記録管理

受給者名簿の記録管理業務について業務仕様を連盟と協議する必要があるが、現行、壮年会連合奨学金制度運営のため神学校献金額10%を上限として供される費用の範囲内で運営可能であると判断している。

教会形成を担う壮年の働きの推進

壮年が教会の奉仕と宣教の業を主体的に担うことを通じて教会形成に参加できる。そのことを支援する仕組みを以下の通り提供する。

1. 全国の壮年同士の連帯強化と活性化

各教会壮年会活動の紹介

壮年会連合ニュースを基幹にして各教会壮年会の活動を通して受けた恵みを紹介して行く。

活き活きと活動する壮年の姿を通して喜びを分かち合い、お互いに触発されて行くことを目指す。

バプテスト壮年ネットワークの構築

支障のない範囲で壮年個人に直接情報を届けるためのネットワークを構築する。これにより必要な情報が滞留することなく壮年個人宛に届け、全国の壮年が課題を共有し、祈りを合わせることができるようになることを目指す。

第一歩としてEメール・アドレスリストを作成し、役員会と教会・壮年個人宛に受発信するルートに限定して運用する。2012年度は呼びかけを行ったが、必要性について認知を得ていない状況である。引き続きPRしていく。

尚、アドレス管理は個人情報保護の精神を生かし全国壮年会情報提供以外に使用することはしない。

壮年が所有する賜物の紹介

壮年が現役時代の職場やいろいろな場所で培った賜物を活かし、社会の中で生きる姿を紹介していく。その賜物を相互に生かすことによって壮年同士の交流の輪が広がることと、主の業に参加していることが実感でき信仰の醸成に寄与することを目指したい。また、事例を積み重ねることによって人材登録機能の構築まで目指したい。

2. 全国壮年の情報の共有と活動ツールの強化

「壮年会連合ニュース」の発行

従前通り年5回発行するが、掲載記事の性格を明確にし、視覚に訴えるようレイアウトを工夫する。特に、役員会・奨学金委員会報告を定期的に掲載することで、全国壮年会連合活動のアピールをして行く。このことにより各教会に神学校献金(神学生奨学金献金)及び全国壮年会連合会費の必要性を認識していただくことを期待している。

(2012年度に紙面のリニューアルを実施。引き続き読みやすい紙面づくりを目指す)

< 壮年会連合ニュース2013年度発行計画と概略紙面構成 >

発行月	号	1面	2面 寄稿	3面 紹介	4面 発信
		巻頭言	神学校献金推進	壮年活動 / 賜物	役員会・委員会
2013 / 4	76	伊東奨学金委員長		総会、選挙公示	献金、人事(体制)
6	77	大会実行委員長	神学校献金推進者と神学生からの寄稿	教会壮年会活動の取材記事と賜物紹介の連載記事	役員会・委員会報告
10	78	連盟常務理事			総会関連速報
12	79	西南神学部 連立等神学校からの寄稿			役員会・委員会報告
2014 / 2	80				委員会報告

紹介記事の性格 : 壮年活動 = 取材記事。賜物 = 2回連載記事

ホームページによる情報発信

2012年にクラウドサーバ(マイクロソフト社Sky Drive)を利用した方式に変更したが、引き続き掲載情報を充実していく。また、更新情報を早期に周知していただくために、.1. によるネットワーク登録者を増やすように努めていきたい。

3. 各教会での壮年会例会プログラムへの支援

教会形成に仕えるための壮年の役割、働きについて、例会での学びのための材料をシリーズで提供していきたい。

2013年度は『「献身」を起す教会形成』(仮題)をテーマに、講師をたて執筆を依頼したい。

・ワーキング・グループからの答申に関する検討

ワーキング・グループにより答申された今後の全国壮年会連合活動について、緊急・重要性の見地から以下の答申について、具体策の検討を行う。

検討は役員会から委員(若干名)に委嘱して進める。

1. 代表者会議の機能(位置づけ、役割等)
2. 神学校献金推進委員の働き
3. 奨学金制度運営の評価(2012年度奨学金委員会課題の継続)
4. 事務局長の常勤化(メリット・デメリットの検討、人選上の課題対応、財政面での課題対応等)

・連盟「伝道者養成グランドデザイン検討委員会」への参与

2012年度から引き続き、伝道者養成の業に信徒運動としてどのように取り組むのかを命題に委員として会長が参画する。委員会のタイムスケジュールは、連盟第2回理事会(9月)に提案することとなる。委員会内の協議で示され、実行可能なものは都度、全国壮年会連合活動の中に反映していく。

・2013年度全国壮年会連合協力体制

◇ 地方連合壮年会長・神学校献金推進委員 (敬称略)

地方連合	壮年会長(教会)	神学校献金推進委員(教会)
・北海道	鈴木 一弘(旭川)	望月 亘(札幌)
・東北	渡邊 敦(郡山コスモス通り)	中山 晴久(仙台)
・北関東	石井 努(太田)	飯野 實(宮原)
・東京	山田 誠一(大井)	山田 誠一(大井)
・神奈川	川勝 高宏(相模中央)	竹内 正幸(相模中央)
・西関東	川井 高雄(松本蟻ヶ崎)	須河内 彰(浜松)
・中部	富士栄 迪(名古屋)	山本 長邦(名古屋)
・関西	北村 慎二(宝塚)	酒井 俊一(北大阪)
・中四国	松田 裕二(道後)	石倉 央(広島)
・北九州	菊岡 義修(東八幡)	梅木 芳昭(大分)
・福岡	小林 鐵志(野方)	石田 孝(姪浜)
・西九州	中島 一弘(佐賀)	河野 正成(佐賀新生)
・南九州	瀧下 郁男(鹿児島)	曾根 基雄(児湯)

◇ 役員会・委員会

役員会・委員会	氏 名(教会・担務)	
・規則改定委員会	鈴木 武史(花野井)	春日 純二(川崎)
	野口 正俊(志村)	
・奨学金委員会	伊東 信吉(大富・長)	鈴木 一弘(旭川)
	篠田 裕俊(田隈)	原田 陽一(高崎)
	山本 長邦(名古屋)	
	鳥飼 好男(市川八幡・連盟理事)	天野 有(福岡ベタニヤ村・西南学院大学神学部長)
・監 査	内藤 崇(西川口)	田矢 廣司(堺)
・役員会	大城戸 一彦(西川口・会長)	伊東 信吉(大富・副会長)
	井伊 肇(日立・事務局長)	岩ヶ谷 吉範(大井・財務)
	春日 純二(川崎・書記)	
・事務局員	豊永 義典(川崎)	

・活動スケジュール

2013年度		
・第1回役員会	4月13日(土)	
・地方連合壮年会長等代表者会議	5月18日(土)	
・第1回役員・奨学金委員合同会	6月15日(土)	
・神学校週間	6月23日(日)～30日(日)	
・神学校献金推進委員会議(福岡)	8月23日(金)	大会AM
・第47回全国壮年大会・総会(福岡)	8月23日(金)～24日(土)	
・第2回役員会	9月14日(土)	
・第3回役員会	2014年2月1日(土)	
・第2回役員・奨学金委員合同会	2014年3月1日(土)	
2014年度		
・第1回役員会	4月12日(土)	
・地方連合壮年会長等代表者会議	5月17日(土)	
・第1回役員・奨学金委員合同会	6月14日(土)	
・神学校週間	6月22日(日)～29日(日)	
・神学校献金推進委員会議(中国・四国)	8月22日(金)	大会AM
・第48回全国壮年大会・総会(中国・四国)	8月22日(金)～23日(土)	
・第2回役員会	9月13日(土)	
・第3回役員会(新旧合同)	2015年2月7日(土)	
・第2回役員・奨学金委員合同会	2015年3月7日(土)	

以上